

目次

はじめに i

序章 人口の心理学の視点——命と死と生涯発達

- 1 少子長命がもたらしたライフコースの変更 2
- 2 少子高齢化といわれるが——革命的变化が起こっている 6
- 3 「つくった」子と親との関係 12
- 4 高齢者介護の実態——「ケアの女性化」は日本の特徴 16
- 5 高齢者の命と死——「長命」「長寿」とは限らない 20
- 6 おわりに——人口問題は人間発達の問い直しを迫っている 23

● 柏木恵子

1

第1部 誕生——「授かる命」から「つくる命」へ

第1章 生殖補助医療・不妊治療のいま——心とテクノロジー——

●小泉智恵・平山史朗

37

1 不妊治療の現状 37

2 生殖医療の不確実性 40

3 なぜ多くの人が不妊治療を受けるのか? 42

4 不妊治療を経験すると夫婦に何が起こるのか——ある夫婦の架空事例から 46

5 少子高齢社会と不妊 50

第2章 産む選択、産まない選択——出生前診断——

●玉井真理子

55

1 はじめに——「あなた一度失敗してるんだから」 55

2 出生前診断について 57

3 「健康な子がほしい」と「健康な子でなければいけない」の間 61

4 おわりに 66

第3章 近代日本社会と子どもの命——子返しの習俗と規範の形成……………

● 太田素子

1 日本の人口革命——その二つの波 69

2 「一回限りの生」——命に対するまなざしの変容 72

3 近世の出生制限と近代家族の「家族計画」 79

第4章 血がつながらない子どもの親になる——特別養子縁組による親子の形……………

● 富田庸子

1 「産むこと」と「育てること」 87

2 特別養子縁組 88

3 親子になる道——NPO法人「環の会」の場合 96

4 かけがえない命をつなぐ 101

第II部 親子関係——「少子の子ども」と「長命の親」

第5章 子どもの価値——なぜ、女性は子どもを産むのか……………

● 永久ひさ子

1 なぜ「少子」か？ 107

2 なぜ子どもを産むのか——子どもの価値 109

3 なぜ子どもを産まないのか 118

4 若い世代を取り巻く社会・経済的環境と子どもの価値 121

第6章 育児不安を考える——ライフコースの激変とアイデンティティの揺らぎ……………

● 柏木恵子・加藤邦子

1 育児不安とは何か？——日本の母親に多い現象 125

2 女性の人生と心理を一変させた人口動態的变化 128

3 育児不安を強める要因——どのような状況が母親を育児不安に陥らせるのか 129

4 なぜ父親不在が母親に悪影響を与えるのか 137

5 おわりに 142

第7章 もたれ合う家族——日本の家族文化の問題……………

● 舩橋恵子

1 なぜ現代日本では子どもが自立しにくいのか？ 148

2 日本の家族主義と母性観の問題点 152

147

125

3 共依存から自立に基づく相互ケアへ 157

第8章 家族が変わる、老親介護も変わる——二世紀の高齢者の介護と暮らし……

● 染谷椒子

1 老親扶養の変化 163

2 高齢者介護の背景——少子高齢化と女性就労の増加 164

3 家族機能・家族役割の変化と介護の社会化 167

4 高齢者の家族介護を軽くする 169

5 高齢者の住まい方の変化 172

6 有料老人ホームという暮らし方の選択——アメリカ、オーストラリア、日本 174

7 アジア主要都市の老親扶養意識——老親扶養の変化 177

第III部 命の終わり方——「長命」は「長寿」か

第9章 人間の尊厳と死——「死の尊厳」の語られ方を読み解く……

● 大谷いづみ

1 「死ぬときぐらい好きにさせてよ」？ 183

2	死の変容——世紀の狭間で	186
3	安楽死・尊厳死と人口問題	188
4	「安楽死」から「尊厳死」へ	190
5	人間の尊厳／品位——『わたしを離さないで』が語るもの	193

第10章 変わるお葬式、消えるお墓——その実態と現代人の意識……………

●小谷みどり……………

1	変わるお葬式	201
2	お墓の現代的問題	206
3	変わるお墓	210
4	変わらない意識	212

第11章 長生きすること——長命の価値と課題……………

●森岡清美……………

1	高齢期の人間発達	217
2	老盛期の出現	219
3	老盛期をどう生きるか	221